

10th Anniversary

山崎 明

Mei Yamasaki

サクソフォン リサイタルツアー

2025

多彩な音にのせて紡ぎ出す
至高のひととき



沖縄
福岡
大分公演
piano
宮城 さくら

PROGRAM

E.モリコーネ：モリコーネ・パラダイス(真島俊夫 編曲)

Nuovo Cinema Paradiso Medley / Ennio Morricone (arr. Toshio Majima)

P.イトゥラルデ：小さなチャルダッシュ

PEQUENA CZARDA / Pedro Iturralde

大島ミチル：風笛

Kazabue / Michiru Oshima

山崎 明：distortion『歪』

distortion『ibitsu』 / Mei Yamasaki

etc...



沖縄公演

flute
屋比久 和可乃

沖縄公演

ベッテルハイムホール



11/22 (土)

開場 13:30 開演 14:00
浦添市前田3-3-5

福岡公演

なみきスクエア 大練習室



12/10 (水)

開場 18:30 開演 19:00
福岡市東区千早4-21-45

大分公演

ホルトホール 小ホール



12/11 (木)

開場 18:30 開演 19:00
大分市金池南1-5-1

[チケット]

一般 ¥3,000 / 学生 ¥2,000

[当日：各500円UP] (高校生以下)

※お電話にて受付しております

[WEBチケット]



WebチケットはQRコードより申込

※当日券は会場窓口にて販売を行います

後援：福岡市

主催：芸術団体 Sonate

お問い合わせ ☎ 070-8342-1540



山崎 明

やまさき めい

クラシカルサクソフォンの普及と更なる可能性の追求をテーマに2016年からリサイタルツアーを企画・開催して今年で10周年となりました。

全公演において常にストイックな企画で挑戦し続けたリサイタルツアーの節目として、熊本・宮古島公演では豪華な吹奏楽との共演を、そして福岡・大分・沖縄の3公演では例年と違い、色彩をガラッと変えてお送りしたいと思います。当日皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

平成音楽大学音楽学部音楽学科を首席で卒業、また同大学音楽専攻科を学長賞を得て修了。2009年熊本市制100周年記念人づくり基金の助成を受け渡仏。パリ10区ベルリオーズ音楽院サクソフォン科、及びブローニュ=ビヤンクール地方音楽院室内楽科を首席で卒業。パリ地方音楽院室内楽科修了。

すみれ会室内楽コンクール2007において福岡県知事賞(グランプリ)受賞。

第1回 横浜国際音楽コンクール管楽器部門第1位。第22回 八代青少年音楽コンクール金賞及び八代市長賞。

第10回 九州音楽コンクール管・打楽器部門大学の部金賞及び最優秀賞また、同年5月受賞者記念演奏会に出演し、全部門受賞者の中から選考され、出田賞(グランプリ)受賞。

第14回 おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選、本演奏会出演。

第53回 西日本出身新人紹介演奏会に出演し、審査員満場一致で西日本音楽協会賞(グランプリ)及び福岡県教育委員会賞受賞。また、審査員団より『現代音楽におけるサクソフォン演奏に一石を投じる名演』と絶賛される。

第47回 熊本新人演奏会出演。第3回 パリサクソフォンコンクールサクソフォンデュオ部門第2位(1位なし)。

第9回 ジェンコ国際音楽コンクールサクソフォン部門満場一致の名誉1等賞。

第6回 ナント国際サクソフォンコンクール第1位。第11回 キエリ国際コンクール室内楽部門第3位。

第1回 Théâtre du Passage vers les étoiles 音楽コンクール室内楽部門第1位。

またフランスのトゥールーズ郊外にて開かれた第4回Festival Chambre Avec Vuesの室内楽コンクールで入賞及び聴衆賞を受賞し、2013年に開かれた第5回同音楽祭の招待アーティストとして選ばれリサイタルを行う。

第87回 レオポルドベラン国際音楽コンクール室内楽部門第1位。

第13回 マルコフィオリンド国際音楽コンクール室内楽部門第2位。

その他多くの演奏会等に出演し、また国内外のコンクールにおいても上記の他多数入賞。

帰国した2014年より現在まで毎年規模の大きいコンサートツアー(リサイタル等)を全て自ら企画・制作し、開催。各年テーマに基づき、バロックから現代曲までこだわりの選曲と演奏で好評を博す。中でも、『山崎明サクソフォンリサイタル2022 special concert』では全曲オーケストラとの共演でコンチェルト5曲を演奏という管楽器奏者としても異例の快挙を成し遂げ、大好評を博した。また、他楽器、声楽、邦楽とのアンサンブルや朗読、演劇、人形劇など他芸術とのコラボレーションも盛んに行うなど幅広い演奏活動を展開。これまでに数々の世界初演、日本初演、九州初演を果たす。

留学中に独学で学んだティンホイッスル(アイルランドの笛)で習得したアイリッシュ音楽・ケルト音楽をサクソフォン演奏に取り入れるなど、クラシックのみではなく様々な民族音楽を研究。2015年にはサクソフォンメインで録音されたケルト音楽のCDとしては世界初となる1stアルバム『Saxelt』を2015年リリース。その後2019年に日本歌曲を中心とした2ndアルバム『Nostalgique』、クラシカルサクソフォンのレパートリーを集めた3rdアルバム『notre favori』を同時リリース。2024年に全曲無伴奏作品による最新アルバム『静寂と音の調べ』をリリース。

またYouTubeでの動画投稿もコロナ禍を期に定期的に行い、クラシック・民族音楽以外にも歌謡曲・映画音楽・ポピュラー音楽・ジャズ・フュージョン等ジャンルを問わず幅広い年齢層に向けた演奏動画の投稿を現在も継続中。(現在チャンネル登録者数2080人、総再生時間39000時間。)

また、自ら作曲も手がけ、無伴奏作品「distortion『歪』」は、第38回全日本作曲家コンクールソロ部門において最高位を受賞。

芸術団体 Sonate代表理事・さくら音楽教室講師

コンサート・CD情報など
最新の配信記事を
ご覧いただけます



最新情報



YouTube



NEW ALBUM



今回のソロアルバムは4枚目・5枚目の同時リリースとなり、内容は全曲無伴奏作品での収録となる。

Disc1ではバッハの名曲『無伴奏チェロ組曲』から第1番・第2番、そして『無伴奏パルティータ イ短調』を収録。

Disc2ではサクソフォンのために書かれた近現代のオリジナル作品から選曲。

サクソフォン独奏曲の代表曲P.ボノーの『ワルツ形式によるカプリス』から始まり、その後は各国の民族的エッセンスや雅楽・ジャズ・ブルース・ロックまで様々なスタイルの作品を収録。さらに、演奏者自身のこれまでの技術と経験、アイデンティティを基に新たに作曲した自作曲も収録し、聴き応えのある充実した内容に仕上がし、サクソフォンの魅力を存分に堪能できる珠玉の一枚となっている。

